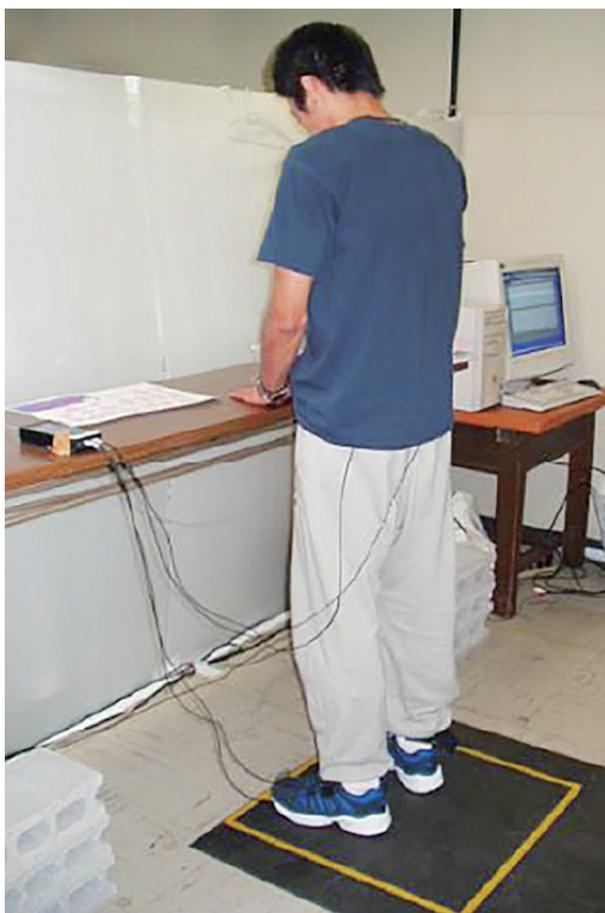


## 臨床試験による立ち仕事時の疲労軽減効果

一般的に適度な運動量があると、棒立ちの状態を防ぎ、血流を促すことで、全身の疲労軽減に役立ちます。臨床試験では、実際の勤務時間を考慮した8時間で、〈コンフォートキング™〉による足首の活動量を計測し、疲労軽減効果を検証しました。

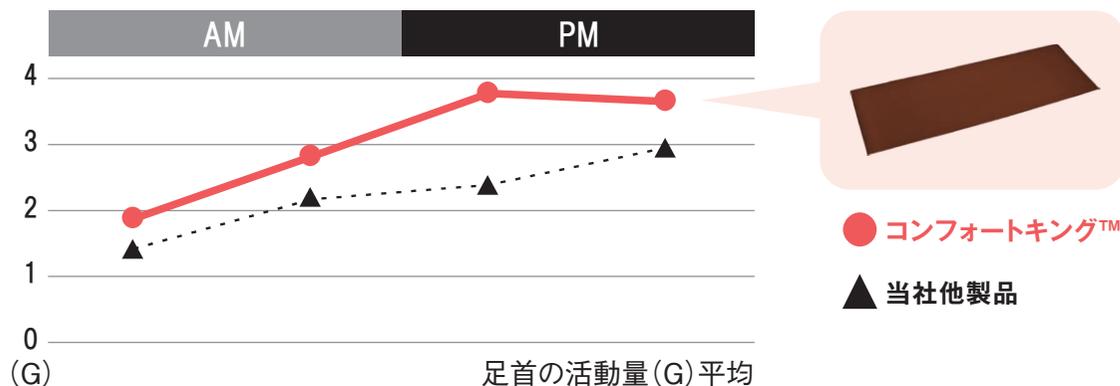


財団法人労働科学研究所  
(現:公益財団法人大原記念労働科学研究所)における  
実験結果(2002年12月27日)

### 実験内容 足首の活動量の測定

分析データは、被験者9名の平均。  
2秒ごとの平均加速度(単位:G)を記録し、11分間の平均値を求めました。

### 分析結果 足首の活動量が有意に増加



〈コンフォートキング™〉使用により、足首の動きが増加し、足首の活動量の有意な増加が認められました。疲労軽減効果により、フロントスタッフの負担を軽くすると同時に、安全性・業務効率を高めることができ、サービスレベルの向上につながります。